

「JICA食と農の協働プラットフォーム」のご案内

～開発途上国の持続的開発目標(SDGs)・ゴール2(飢餓をゼロに)達成に貢献するための産官学の情報共有・協働体制構築メカニズム

JICAは、2019年4月に、ODA事業等で連携を深めてきた皆さま方とともに、これまでの関係をさらに発展させるため、「JICA食と農の協働プラットフォーム」を立ち上げました。民間企業／業界団体、大学／研究機関、国際機関、NGOやメディア、政府機関など、ご関心のある方は、**どなたでも参加いただけます。**

I . JICA 食と農の協働プラットフォームの実施要項

(1) 目的

- 「**持続可能な開発目標 (SDGs)**」の達成に向けて、国内の産官学関係者が途上国及び日本の課題解決のための活動を促進するために、ゆるやかなネットワーク(プラットフォーム)を設置するもの。
- 情報や経験の共有等を通じて、同ネットワークの中から、**様々な『共同活動』を産み出すことを目標**とする。

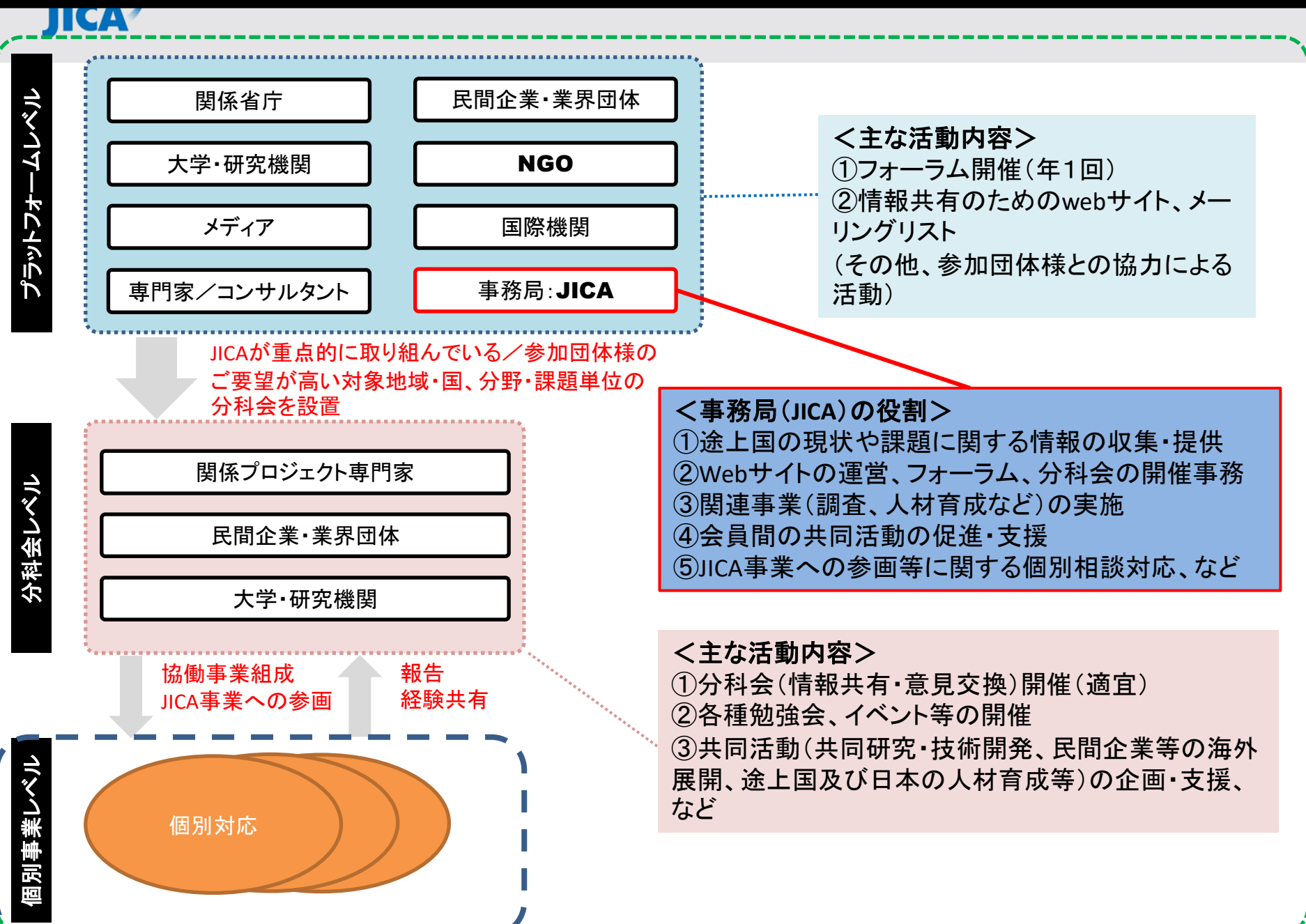
(2) プラットフォームの枠組み

- 対象範囲**: 関係省庁、政府機関、大学／研究機関、民間企業／業界団体、市民社会、国際機関など、開発途上国の農林水産及び食料・栄養分野に関係する団体又は個人。また、必要に応じて、途上国政府とも連携を行う。
- 活動内容**: ①途上国の農林水産及び食料・栄養分野における情報・経験の共有、②各種勉強会、イベント等の開催、③共同活動(共同研究・技術開発、民間企業等の海外展開、途上国及び日本の人材育成等)の企画・支援
- JICAの役割**: ①途上国の現状や課題に関する情報の収集と提供、②関連事業(調査、人材育成等)の実施、③会員間の共同活動の促進・支援、④JICA事業への参画等に関する個別相談対応、⑤事務局運営など

(3) 運営方式: 活動計画・報告は、年1回のフォーラムで実施。JICAが事務局。

(4) 参加料: 無料(事務局の運営経費はJICA負担)。※オンライン参加通信費は自己負担

II. JICA 食と農の協働プラットフォームの取組イメージ



分科会

分科会名	活動内容(準備・検討中)
フードバリューチェーン (含む農業DX)	情報収集基礎調査等の結果紹介
アフリカ農業	アフリカ先進農業技術の導入促進事業(AFICAT)の進捗状況に係る紹介
	ロシアのウクライナ侵攻等政情不安による国際的なサプライチェーンの停滞等がアフリカに及ぼす食料安全保障への影響、及びその対策支援に係る紹介
水産	水産ブルーエコノミー振興の協力方針紹介
畜産・家畜衛生	畜産・家畜衛生、ワンヘルスに関する戦略紹介
農業と気候変動レジリエンス	農業とレジリエンスの取組(緩和策、適応策)等についてのJICAの取り組み、国際協力の潮流に関する際し員情報の共有

★分科会共通事項

JICAからの一方通行的発信でなく、JiPFA会員様からの情報発信等、JiPFA創立趣旨、「産学官間の連携」による知見共有と課題創出、将来的な協働活動の場となることを目指す。

JICA 食と農の協働プラットフォーム (JiPFA) についてのお問合せ、会員登録をご希望の場合は、HPをご確認のうえ、以下のメールアドレスにご送付ください。

◎メールアドレス：jipfa@jica.go.jp

◎JICAのHP“JICA食と農の協働プラットフォーム (JiPFA)”

<https://www.jica.go.jp/activities/issues/agricul/jipfa/index.html>